

第2740地区 創立/1990年9月29日 認証/1990年10月22日

佐世保中央ロータリークラブ週報

会長：岡 光正 / 副会長：芥川 圭一郎 / 幹事：馬渡 圭一



2025～2026 年度クラブスローガン

例会に行こう

週報編集 / 公共イメージ・会報委員会：委員長 / 橋口 佳周 副委員長 / 倉科 聡一郎

委員 / 西村 浩輝、四元 清安、崎山 信幸、田中 啓輔、澤田 磨

本日の出席率93.75%：会員数53名・出席29名・欠席8名・出席規定免除会員8名・ビジター0名
 前々回の修正出席率94.10%：出席35名・メークアップ0名



会長挨拶 / 岡 光正君



皆さんこんにちは。先週の木曜日から今日まで、ロータリー活動は何もなく一週間振りに馬渡幹事と会いました。先週開催した、松石智宏君の歓迎会には36名の皆様に、参加をして頂きお忙しい中有難うございました。

さて、今日は「何のために」という話をしたいと思います。私はロータリー活動の他に、佐世保島原ウルトラウォークラリーを運営する実行委員会に第一回から所属し活動しています。ご来訪頂いている立山社長も実行委員会メンバーであり、立山明日香様もボランティアスタッフとして何度となくご活躍頂きました。今年も第14回が終了し、中央クラブからも参加者やボランティアスタッフとしてご協力頂き、大変感謝しているところです。今年の大会が終わった、5月15日の長崎新聞に、105キロに参加された、52歳男性が投稿した記事を見つけました。内容はこうです。「何のために、100キロを歩くのか自問」

「お父さんはなんで、きついのにお金を払って100キロも歩くの？」島原市から佐世保市までの105キロを、24時間以内に歩く「佐世保-島原ウルトラウォークラリー」。3日のスタート当日、娘からの問いに答えられず「いい質問だね」とごまかした。そこで、歩きながら考えることにした。辛い時間はたっぷりある。お金を払うという事は、何かを買うという事だ。私は、何を買っているのだろう。105キロ歩くことはきつし、不安も大きい。ただ、完歩できたら達成感を味わえ、それなりの自信を得ることができる。経験した人にしか分からない視点が、身に付くかもしれない。完歩できなくても、向いていなかった、準備が不十分だったなど考えることもできる。「何のために、お金を払ってまで歩くのか」。娘の質問に対する答えは「新しい自分を見つける機会を得るため」という結論にたどり着いた。

もう一つ、途中で出会った人から聞いた「完歩するなら、人と競争しないこと」という言葉も心に残った。こうした言葉が、私の中に染み込み、新しい自分を作っていく、ピースになるに違いない。と括ってありました。

この記事を読んだ時に、ふと思いました。もし家族から私に対し、「21万円の会費を払って、何のためにロータリー活動をしているの」と問われたら、果たして何と答えるでしょう。皆さんはどう答えますか。人それぞれに明確な答えがあると思います。私のロータリー活動は、道半ばゴールまで完歩していません。明確な答えは見つかりませんが、一つだけ自信を持って言える事は、「出会いを得るため」に活動しています。この後、立山明日香様に実体験をもとに「青少年に対する」奉仕活動の話をして頂きます。「何のために」活動されているかを新聞記事で読みました。大変感動致しました。この出会いに感謝しながら、想いを共有したいと思います。最後まで宜しくお願い致します。以上、会長挨拶とさせていただきます。

Report

幹事報告 / 馬渡 圭一君

1. 来信

ガバナー事務所

- ・地区委員会主催講演会のご案内
- ・ハイライトよねやま 304 送付



結婚記念日

7月 7日 稲次 賢一・令子 ご夫妻
 7月26日 吉野 英樹・昌美 ご夫妻



今月のお誕生日会員

昭和17年7月26日 鶴田 明敏君
 昭和25年7月 5日 溝上純一郎君
 昭和27年7月16日 崎元 英伸君
 昭和31年7月 1日 池永 隆司君
 昭和43年7月 2日 田中 啓輔君



前田 眞澄君

7月11日、南RC7月15日ハウステンボス佐世保RCへのガバナー補佐訪問、クラブ協議会が無事に終わりました。同行して頂きました田雑パスト会長、川崎君、古賀勝君、古賀ゆりえ君、ありがとうございました。色々同行スケジュールを行って頂いています。池永パスト会長もありがとうございます。明日は南RCさんのガバナー公式訪問です。

田中 啓輔君

57歳です。

芥川 圭一郎君

先日「夏の砂の上」を見てきました。内容は・・・でしたが、オダギリジョーが働いていた中華料理屋「天天有」は同級生の店です。

本日の合計	12,000 円
本年度の累計	272,000 円



ニコニコボックス

岡 光正会長・芥川 圭一郎副会長・馬渡 圭一幹事

本日は有限会社立山印刷 代表取締役 立山浩一郎様、並びに明日カフェ 代表で、社会福祉士の立山明日香様にご来訪いただいております。お忙しい中でのご来訪、誠にありがとうございます。本日7月17日は、『東京の日』です！1868年(慶応4年)のこの日、明治天皇の詔勅によって江戸が東京に改称されました。東京の始まりの日ですね。さて、本日の例会は立山明日香様によるゲスト卓話となっております。現在、福岡で家庭や学校に居場所がない少女たちを支える活動を行われている立山さん。奉仕活動を旨とする我々の活動にも通底する内容のお話を頂けるかと思います。本日もよろしくお願い致します。

鶴田 明敏君

誕生日祝いありがとうございます。

溝上 純一郎君

75歳の誕生日を迎えました。先日から後期高齢者の連絡、運転免許証の更新の連絡がありました。決して嬉しい事ではありません。

崎元 英伸君

昨日、無事誕生日を迎える事ができました。何歳なのかは忘れしました。

池永 隆司君

7月1日ロータリーの年度替わりが誕生日でした。プレゼントありがとうございます。

本田 実君

6月末土日のどちらかの日に社用車日産キャラバンが燃えました。電気系統のショートで内部が火災、内部の酸欠状態で消えてました。もちろん廃車です。自分で配線するなら必ずヒューズはつけましょう。



本日の卓話

明日カフェ 代表

社会福祉士 立山 明日香様

愛燦燦プロジェクト活動報告



具体的な事例

Yさん（12歳）	・4月：電話がくる→父と電話で話す→定期的に父と連絡をとっている	
Mさん（17歳）	・5月：性被害についての相談→保護者同伴で行う予定	
Rさん（13歳）	・4月：母から相談→直後から相談→本人と母それぞれと面談予定	




少女たちの共通項・背景にあるもの

- 家にいたくない
- 親にも問題がある
- ネットで出会う
- 自傷行為



SAA：井上 亮
次回例会 7月24日 12:30～



団子屋による就労支援



☆ 自立
精神的・経済的自立へ

⊕ 協働と信頼
人間関係の構築

💰 お金の価値
労働の対価を学ぶ

団子屋での就労支援は、少女たちに「働く」という経験を通じて自立を育むことを目的としています。労働の対価としてお金を得ることの重要性や、社会との関わり方を実践的に学ぶ機会となっています。

また、共同作業を通じて、他者との信頼や信頼関係を構築する経験も提供しています。これらの経験は、少女たちが社会で生きていくための基礎となる重要なスキルです。実際の仕事を通じて自信をつけ、将来の選択に活かせることを目指しています。

ご協力をお願い



見守り
地域での見守りと連携



就労支援
職業体験や技能習得の機会



専門的支援
カウンセリングや技術指導

地域で育てるコミュニティ

コミュニティがない子どもたちを社会で育てていくために、皆様のご協力をお願いいたします。まずは地域での見守りと連携。そして相互支援に努めていく必要があります。

具体的には、カウンセリングによる心理サポート、就労支援を通じた自己肯定感の向上、食事の提供や経済的サポートなどの支援など、サポーターの皆様から支援を行っていただく予定です。少女たちの成長と自立を支えるためには、多くの方の協力が必要です。どうぞ私たちの活動にご賛同、ご協力をお願いいたします。よろしくお願いいたします。




memo